



2022年11月14日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 加 藤 友 彦
 (コード番号5337 東証スタンダード)
 問合せ先 総務部長 田 中 靖 久
 (TEL (06)4795-5000)

営業外収益、営業外費用の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第3四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年9月30日）において、営業外収益、営業外費用の発生及び2022年8月12日に公表いたしました2022年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

為替差益

第2四半期連結累計期間において255百万円の為替差益を計上しておりましたが、外国為替相場の変動に伴う外貨建資産の評価等により第3四半期において68百万円の為替差益を計上し、当第3四半期連結累計期間において為替差益は324百万円となりました。

2. 営業外費用の内容

持分法による投資損失

第2四半期連結累計期間において265百万円の持分法による投資損失を計上しておりましたが、第3四半期において56百万円の持分法による投資損失を計上し、当第3四半期連結累計期間において持分法による投資損失は322百万円となりました。

3. 連結業績予想の修正

(1) 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,100	△ 520	△ 520	40	1円35銭
今回修正予想 (B)	4,500	△ 930	△ 1,010	△ 320	△10円79銭
増減額 (B - A)	△ 600	△ 410	△ 490	△ 360	
増減率 (%)	△ 11.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,018	△ 898	△ 1,031	△ 967	△32円61銭

(2) 修正の理由

2022年12月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、販売体制の強化及び指定力の向上に努めるとともに、原材料、燃料及び運賃等の急激な高騰への対応として、販売価格や運賃制度の改定に取り組み、当第3四半期連結会計期間においては、その成果が徐々に始まっており、売上高、営業利益においてはほぼ予想通り推移しております。

不動産事業においては、世界的な物価高騰を背景とする主要各国の急速な利上げにより、海外投資家を中心に不動産投資に対する慎重な姿勢が見られつつあるものの、国内については、日本銀行による金融緩和政策は継続しており、主要各国に比べ相対的に低水準の金利が今後急速に上昇する可能性は低いことから、円安も相まって海外投資家の日本に対する注目は依然高い状況にあります。しかしながら、主要顧客である海外投資家についても、渡航制限の緩和を受け、投資の再開に向けた動きを見せておりますが、当第3四半期連結会計期間においては、投資家の基準に合致する良質な売却物件が不動産市場に供給されることは少なく、また、取得競争も激化していることから、不動産に対する投資機会も乏しく、容易に受託資産を拡大できる環境にないなど厳しい環境にあり、売上高 597 百万円及び営業利益 409 百万円、当初予想を下回る結果となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、上記記載のとおり、為替差益 324 百万円を営業外収益に計上しましたが、持分法による投資損失 322 百万円を営業外費用に計上することとなり、前回予想を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上